

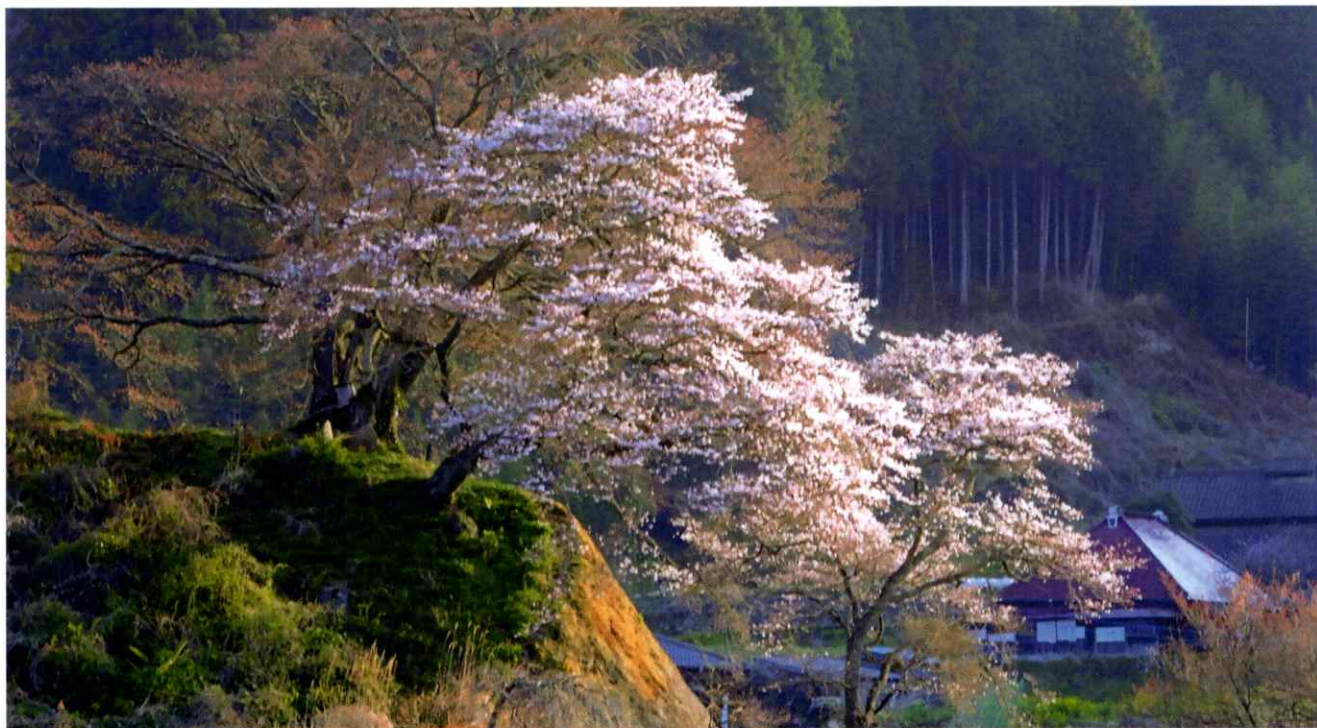


第19号

発行所
久慈地区保護司会

常陸太田市町田町163-1
電話・FAX 0294-87-8770

e-mail:
kujisaposen@kjc.biglobe.ne.jp
<https://kujichiku-hogoshikai.com/home/>



お越し場の桜 (常陸太田市西河内上町)

八幡太郎(源 義家)が桜を愛でるためにお越しになったと言われています。
ソメイヨシノと山桜の巨木である。(撮影 保護司 佐川憲一郎)

久慈地区保護司会の皆様方には、日頃より警察活動の各般にわたり、ご理解とご協力を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

皆様の更生保護活動につきましては、犯罪や非行をした人を地域の中で適切に処遇し、再犯を防ぎ、立ち直りを助けるとともに、地域の犯罪・非行の予防を図る活動であり、大変ご苦労が多い業務であると認識しております。立ち直ろうとする人たちに手を差し伸べて寄り添い、サポートする活動は、とても崇高なもので、熱意と責任を持って取り組んでおられることに対し、あらためて敬意を表する次第であります。

さて、茨城県内では、住宅侵入窃盗や自動車盗、金属盗などが依然として多発しています。また、交通情勢については、交通事故死者の約5割を高齢者が占めているほか、子供の交通安全の確保、飲酒運転による交通事故の多発など依然として厳しい状況にあります。

他方、全国的にSNSや求人サイト等を利用して緩やかな結びつきで離合集散を繰り返すグループ(匿名・流動型犯罪グループ)によると思われる凶悪事件が多発しており、県民の皆様にとっても脅威となっております。

茨城県警察では、昨年来、制服警察官が各家庭を訪問する巡回連絡に力を入れ、県民の皆様のライフセンス力向上を目指す施策を推進中であり、一定の成果が見られます。警察としては、安全安心を実感できる「いばらき」の確立のため、引き続き犯罪の予防と検挙、少年非行防止、犯罪情報等の発信活動に努めてまいりますので、今後とも皆様のお力添えをお願いいたします。

結びに久慈地区保護司会の皆様の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます。



太田警察署

署長 奥山 仁

ごあいさつ



社会全体で 情報モラル教育の推進を

大子町教育委員会教育長 佐藤 洋彰

久慈地区保護司会の皆様におかれましては、日頃より、犯罪被害者支援の取組、そして、図らずも犯罪や非行に手を染めてしまった人たちの社会復帰のためにご尽力いただいております。心から感謝申し上げます。犯罪や非行のない社会の実現は、安全安心な生活に直結します。そのような社会を実現することは、すべての人々の願いでもあります。

近年、ICT機器の進化・発展により、SNSが普及し、特に若者にとっては、日常生活において、「必須アイテム」と言っても過言ではない状況です。若者は、SNSを介して情報を発信したり、情報を手に入れたり、SNSで見聞きした情報が世の中の「真実」となっています。当然、その中の情報には正しいものが多く存在しますが、中には間違った情報も存在しています。それにより、いじめや誹謗中傷の問題、さらには匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)の「闇バイト」募集による窃盗、強盗などの犯罪行為に発展する

る悲惨な事件につながっています。

高度情報化社会の中で、適正に考え、判断し、行動できる態度を育成していくことが今後益々求められてきます。「情報モラル教育の推進」については、学校現場だけではなく、社会全体総がかりで進めていくことが必要であると考えます。保護司会、教育委員会と今後も連携を深め、非行や犯罪防止のための活動の推進に努めていきたいと思っています。

結びとなりますが、久慈地区保護司会の益々のご活躍とご発展をお祈りいたしまして私の挨拶に代えさせていただきます。

「社会を明るくする運動」 作文コンクールに入賞

「社会を明るくする運動」作文コンテストは、日常の家庭生活等の中で体験したことを基本に、犯罪・非行のない地域社会づくりや非行をした人の立ち直りについて考えたことなどを作文を書くことを通じて、この運動に対する理解を深めてもらうことを目的として行われております。

「犯罪・非行について考えること」

◎中学校の部

「優秀賞」

茨城県教育長賞

◇大子町立大子中学校

1年 平塚 明衣

「私の地域のばーちゃんパワー」

「特別賞」

水戸ホーリーホック賞

◇常陸太田市立峰山中学校

2年 中村 理央

「あたたかい言葉」

◎小学生の部

「優秀賞」

茨城新聞社社長賞

◇常陸太田市立菅田小学校

6年 菊池 悠斗



関係機関と連携し 適切な支援を

水戸保護観察所保護観察官 佐藤 光洋

平素から更生保護に対するご尽力を賜りまして、誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。当職が久慈地区を担当してから半年以上が経過しました。久慈地区の特徴として、事件数自体多くはないものの、処遇困難なケースが目立つ印象を受けています。しかし、保護司を始め、関

係者方々のご協力のおかげで、様々な課題を乗り越えることができ、今に至っていると感じます。重ね重ねお礼申し上げます。さて、この半年間、当職としては地域との関係強化に力を入れており、自治体とも連携し、処遇困難な保護観察対象者の支援を行いま

した。私は保護観察官の役割として、必要なニーズが生じた際、地域との関係機関と連携し、適切な支援に力をつけることを重要視しています。「餅は餅屋」という言葉のとおりです。例えば、精神的に不安定な対象者がいれば、医療機関に、経済的問題で困りであるならば、自治体や福祉関係機関につながるよう調整を図ります。そこで求められる力とは、社会資源と対象者のニーズを正確に把握し、コーディネート

する力だと考えております。そのためには関係機関との関係構築・相互理解に努め、協力・連携して問題に対処するという姿勢を心がけています。私一人では力が及びませんが、各関係機関の皆様と協力・連携し、つながることで、より安全・安心な社会につながるというビジョンを信じています。皆様も遠慮なくご相談ください。今後とも更生保護に対するご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



“社会を明るくする運動” 作文コンテスト表彰式

第63回茨城県更生保護大会が開催 久慈地区で23名・1店舗が表彰



ザ・ヒロサワ・シティ会館にて

法務大臣表彰

森 一史 (常陸太田)
全国保護司連盟理事長表彰

坪 陽子 (大 子)

金澤 真人 (大 子)

城石加代子 (常陸太田)

出村 尚英 (大 子)

古川 正美 (常陸太田)

保護司家族功労

綿引眞知子 (大 子)

関東地方更生保護委員会委員長表彰

日座 睦子 (常陸太田)

関東地方保護司連盟会長表彰

木村 千明 (大 子)

鈴木 洋一 (常陸太田)

水戸保護観察所長表彰

大森 勝夫 (大 子)

水戸保護観察所長感謝状

保護司家族功労

赤須 仁子 (常陸太田)

更生保護女性会員

菊池 弘美 (大 子)

小祝 静子 (常陸太田)

皆川 幸枝 (常陸太田)

水戸保護観察所長感謝状、社会

を明るくする運動、民間協力者

カスミ常陸太田店

茨城県保護司会連合会会長表彰

佐川 和広 (常陸太田)

茨城県保護司会連合会会長感謝状

更生保護女性会員

益子 加代 (大 子)

益子 千子 (大 子)

大澤 浩子 (常陸太田)

笹原 紀子 (常陸太田)

茨城県更生保護女性連盟会長表彰

更生保護女性会員

永瀬 京子 (大 子)

松本 恵子 (常陸太田)



受表彰者代表謝辞 (森一史久慈地区保護司会会長)



藍綬褒章を受章して

白石 古登

令和6年春の藍綬褒章の栄を賜りましたこと、誠に身に余る光栄と感激しております。

これもひとえに28年の長きに亘り、温かく見守りご指導くださいました観察所の先生方、久慈地区会長、保護司の皆様の理解と協力により無事に職責を全う出来ましたことに深く感謝申し上げます。

去る5月14日法務省にて褒章伝達式が挙行政され、全国より多くの受賞者の方々と共に拝受いたしました。その後バスにて皇居内、豊明殿の間において天皇陛下より拝謁の栄を賜り、労いのお言葉を頂き、身の引き締まる思いでした。一生の宝ものとなりました。

平成8年11月保護司の委嘱を受け、自分出来るのかと不安との葛藤の中で始まりました。先輩保護司から「あなたなら大丈夫。出来るよ。」と励まされ今日

まで更生保護活動が続けてこられました。先輩保護司は高職歴、地域の中の篤志家の先生方でしたが穏やかにご指導して頂きました。当時は誰にも口外しない、情報交換はしないことになっておりましたので本当に孤独の中これで良いのかと模索しながら接して参りました。再犯された方、亡くなられた方、立派に更生され社会人としてお仕事されている方もあります。28年間長かったようでもあり、瞬く間でもあったようでもありました。

11月で任期満了となりました。今後は一市民として明るい社会づくりの一助として尽して参りたいと思います。

末筆になりますが久慈地区保護司会の益々のご発展と皆様のご活躍とご多幸をご祈念申し上げます。

法務大臣表彰を受賞して



森 一史

更生保護制度施行75周年記念第63回茨城県更生保護大会が令和6年11月8日に、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で開催されました。その席上、法務大臣表彰の受賞の栄に浴し、身に余る光栄と感激いたしております。

この度の受賞は、保護観察所の先生方や保護司会の諸先輩方とともに活動する更生保護関係者のお力添えやご支援があつてこそ成し遂げられたものだと思ひ感じており、改めて感謝申し上げます。

平成19年3月25日に保護司を拝命し、実に18年もの間、保護観察所、保護司会、更生保護に関わる皆様方のご指導・ご支援の元、微力ながら保護司としての役割を担つて参りました。

微力ではございますが、今後、さらに研鑽を重ね、犯罪や非行をした人たちの改善更生と、地域の犯罪予

防活動に力を尽くして参りたいと存じております。

全国保護司連盟理事長表彰を受賞して



坏 陽子

この度、全国保護司連盟理事長表彰を賜り、心から御礼を申し上げます。平成16年、福祉職の私に元会長池田数和様から保護司の依頼があり、大役と悩みましたが、犯罪のない社会の構築には、信頼関係、寄り添い、連携等が大切であり、更生保護も社会福祉に通じるところがあると実感し、お引き受けしたことを思い出します。今回の受賞を励みに微力ではありますが、皆様のご指導を賜り更生保護活動に尽くして参りたいと存じます。



金澤 眞人

第63回大会において、全国保護司連盟理事長表彰を

頂きありがとうございます。令和4年に体調を崩し思うように復帰できずに居ましたが、私の出来る限りの協力をしなければと思つていました。

保護司の高齢化や、なりて不足が心配されている現状の中で、対象者と真剣に向き合い更生に導けるよう諸先輩が努力してこられた様に、地域で必要とされる保護司となれる様勤めたいと思います。



城石 加代子

令和6年10月2日、東京国際フォーラムで開催されました「更生保護制度75周年記念全国大会」に森会長と共に出席してまいりました。全国から集まった保護司の一人として、身の引き締まる思いで式に臨みました。この席上で全国保護司連盟理事長表彰を受賞いたしました。更生保護制度の一端を担う責務を改めて感じた一日でした。

さて私は、平成17年11月保護司に拝命されて20年目に入りました。この間に

会った、水戸保護観察所や保護司の皆様の温かいご指導ご支援に心より感謝申し上げます。

今後も自己研鑽を重ね「安心安全な住み良いまちづくり」のために微力を尽くして参りたいと思つております。



出村 尚英

第63回茨城県更生保護大会において、全国保護司連盟理事長表彰を受けることができました。当日は、前から三列目という席を準備していただき、安達由美さんのコンサートを間近で観ることができました。同じ久慈地区の5名の方とともに表彰を受けたのも実にありがたいことです。

保護司になつて19年の時が流れ、社会情勢もだいぶ変わってきました。これからも、社会に貢献していきたいと思つておりますので宜しく願ひ致します。



古川 正美

この度は、全国保護司連盟理事長表彰を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

このような栄誉ある表彰をいただき、大変光栄に存じます。これもひとえに、日頃よりご指導ご鞭撻を賜りました皆様のおかげと深く感謝しております。

今後も、保護司としての責務を全うし、地域社会の安全と福祉の向上に寄与できるよう、精進してまいります。

全国保護司連盟理事長表彰(家族功労)を受賞して



綿引 眞知子

この度、全国保護司連盟理事長表彰（家族功労）をいただき受彰式に出席出来ましたことは、身にあまる光栄と深く感謝申し上げます。

夫は保護司としての役割を理解し、人に優しく自分に厳しく、誰に対しても平等に話を聞いて23年間過ごしてきたように感じております。

現在は三人の子供達も独立し私達二人だけの生活ですが、これからも互いの健康に注意し、二人三脚で歩んで行こうと思っております。

保護司の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



日座 睦子

**関東地方更生保護
委員会委員長表彰を
受賞して**

この度、関東地方更生保護委員会委員長表彰にあたり、長野県松本市で開催された第38回関東地方更生保

護大会に出席させていただきました。アルプスを望むキッセイ文化ホールでは60歳からのデジタル学習術という講演が開かれ、今後の人生に役立つものとなりました。犯罪から立ち直るには周囲の人とあたたかな関係を築き孤立しないことだと思えます。今後も微力ではありますが、皆様のご指導・ご助言を頂き更生保護のため日々精進していきます。

**関東地方保護司連盟
会長表彰を受賞して**



木村 千明

この度、昨年に引き続き表彰を受けるということで正直「えっ」と思いました。先輩の先生方が大勢いらつしやる中で経験も実績もない私が受賞の栄を受けてもいいものかと思ひ、今までの更生保護大会の資料を見ると在籍年数によって同じ様に受賞されているのが分かりました。

保護司としての本来の使

命（犯罪を犯した人の更生に尽くす）の為に研修を受け職員を深めて、社明運動に参加し犯罪や非行の予防に務めるということが一番とは存じますが、仕事を持つていると中々そうもいかないのが現実かと思ひます。そして今後保護司になる人を受け入れるためにも地区保護司会のあり方や運営面でも考えなければいけない課題だと思っています。

一保護司として今回の受賞は身に余る思いですが、これを契機にもう一度保護司として何が出来るのか、また出来るのは何なのかを自分に問うて社会貢献をして参りたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



鈴木 洋一

ザ・ヒロサワシティ会館にて挙行された更生保護制度75周年記念更生保護大会において表彰頂きました。これまで、様々な更生保護活動や四苦八苦しながら

も保護観察の対象者に寄り添い真摯に向き合ってきました。これも一重に、頼りになる観察官、先輩保護司の皆様、関係機関や地域の方々に支えられ、助けられてきたお陰です。誠にありがとうございます。

**水戸保護観察所長
表彰を受賞して**



大森 勝夫

受賞を機に思うのは、二つの意味を表彰は持ち合わせていると感じることです。偉業を称える表彰と、精進しなさいという激励の表彰があると思うのです。さらなる努力を要する私ですが、保護司としての資質を身につけるためにはどうすればよいのか。何気ない人とのふれあいにも、人格向上の要素が潜んでいるかもしれない。それに気づける

**茨城県保護司会連合会
会長表彰を受賞して**



佐川 和広

か否かが成長の分岐点となるのでしよう。議員として公務を優先することが多い身ですが、自己研鑽の心がけは持ち続けたいと思ひます。

去る11月8日、ザ・ヒロサワ・シティ会館において行われた茨城県更生保護大会において、茨城県保護司連合会会長表彰を受賞いたしました。これも多くの方々のご指導のお陰と感謝しております。私は令和2年に保護司を拝命しました。この間、保護観察の案件を先輩保護司の先生の指導を受けながら担当させていただきました。最近では犯罪も複雑化してきています。まだまだ学ぶところは多いですが、対象者の更生を支援するという思いを胸に取り組んでまいります。

各部会の取り組み

総務部会

保護司会の運営や組織の活性化を 城石加代子

総務部会の役割としての保護司会の運営や組織活動の活性化を目指して、部員8人が協力して事業に取り組んでいます。

○久慈地区保護司会定例総会
5月17日 大子町中央公民館で開催

○常陸太田支部総会
6月4日 常陸太田市役所

○大子支部総会
6月7日 リバーサイド奥久慈

○定期駐在
6月14日・7月12日・10月11日・12月12日・7年2月14日と5回予定されていました

が中止となり、観察官の指導によりパソコン研修を行いました。



久慈地区保護司会総会

○賛助会員募集
保護司会の活動にご支援を

いただいている企業や個人の方々に感謝を申し上げます。支部事業運営に有効に活用しています。

・賛助会員
常陸太田支部 54件
大子支部 34件

○更生保護制度75周年記念全国大会
10月2日 東京国際フォーラム

○更生保護制度75周年記念第38回関東地方更生保護大会
10月25日 長野県松本市

○更生保護制度75周年記念第63回茨城県更生保護大会
11月8日 ザ・ヒロサワ・シテイ会館

○面接場所確保に係る関係機関への要請
水戸保護観察所長、茨城県福祉政策課人権推進室長・主任、会長、副会長が訪問して

市長、町長に面接場所の確保についてお願いして参りました。

・大子町役場 11月13日
・常陸太田市役所 11月26日
○ICT化の推進
茨城県保護司会連合会の令和6年度「ICT化推進のた

めのモデル地区保護司会」の指定及び助成を受けて、ホームページの作成に取り組み、

研修部会

研修会に積極的な参加を

尾崎 英明

計画を立てるものの中止や順延が続くヨチヨチ歩きでの研修活動も、令和6年度に入り視察研修を含めやっと計画通りの実施が可能になりました。しかし計画通り実施中とは言え問題も散見されます。それは参加率がコロナ前に戻っていませんし出欠者の色分けが明確化しつつ有る事です。この様な事象は町内会や寺社の集会等にも顕著に表れており、冠婚葬祭に至っては

7月から公開を始めましたのでご覧ください。

犯罪予防部

社会を明るくする運動の実施を

佐川憲一郎

今年度も、犯罪や非行のない明るい社会を作るべく、「社会を明るくする運動」を始め、犯罪予防活動等を進めてきました。

【久慈地区】
第35回樹輪

親父の出番親子木工教室

令和6年6月16日

杜明運動として実施されている「親子木工教室」です。今年度は、大子町子ども議会でも提案されたゴミ箱作りに取り組みました。暑い日で親子が汗びっしょりになりましたが、頑張つてゴミ箱を作りました。

【常陸太田支部】
第74回社会を明るくする運動(以下杜明運動と記す)
常陸太田市推進委員会
令和6年6月18日

宮田市長を委員長とする推進委員会を開催し、今年度一年間の取り組みについて協議しました。その後、太田警察署長奥山様の講話を拝聴しました。

杜明運動キャンペーン

令和6年7月27日

市立水府中学校の生徒25名を含む11団体総勢112名が参加しました。大型商業施設3店

舗の駐車場等で、ティッシュ等の啓発用品を配布しながら啓発活動を行いました。

杜明運動作文コンテスト審査

令和6年9月11日

市内小学校から58点、中学校からは118点の応募がありました。サポーターセンターにおいて支部の保護司14名で審査し、小学生の部3点、中学生の部5点を県に推薦しました。県での結果は小・中学校各部において1名ずつの入賞がありました。応募いただいた児童生徒さんに感謝します。

あいさつ声かけ運動

令和6年11月7・8日

常陸太田駅前、市内の高校生や更女等の方々と通学・通学者へ啓発用品を配布しました。翌8日は中城町交差点で行われた太田小・中学校の「あいさつ運動」に青少年健全育成市民の会の方々と共に啓発用品を配付しました。



あいさつ声かけ運動 (JR 常陸太田駅)

〔大子支部〕

第74回社明運動大子町推進委員会 令和6年6月20日

会議に先立ち、岸田総理大臣からのメッセージを出村尚英支部長が朗読し、委員長高梨哲彦大子町長に伝達しました。委員会は、町長、支部長の挨拶の後、実施要綱や具体的な取り組みについて協議しました。参加者は、大子町、久慈地区保護司会大子支部、大子警察署、更生保護女性の会、青少年相談員連絡協議会、薬物乱用防止指導員ひたちなか地区協議会、民生委員児童

委員協議会、人権擁護委員協議会、大子ロータリークラブ、常陸大子ライオンズクラブ、町学校長会、太子清流高等学校、県少年指導委員大子支部の代表者でした。

社明運動街頭キャンペーン

令和6年7月17日

関係機関・団体の代表者等26名の参加のもと、2グループに分かれて町内の大型商業施設の駐車場等で買い物客などにチラシ・ティッシュ等を配布し啓発活動を行いました。社明運動作文コンテスト選定会議

令和6年9月11日

大子町役場会議室において、小学校10点、中学校35点の応募があり、大子支部保護司7名が規定に基づき選定し、県に小学校1点、中学校2点を推薦しました。応募した小中学校児童生徒全員にお礼のメッセージを添え記念品を届けました。県での結果は中学校の部で県教育長賞を受賞するという素晴らしい結果となりました。「社明運動」につきましては、大子町役場福祉課のご指導に協力に感謝申し上げます。

協力組織部

協力雇用主へ理解と協力を

古川 正美

協力組織部は各地区保護司会に設置されている活動組織の一つで、刑務所出所者や保護観察対象者をその事情を承知の上で雇用することで、更

生保護活動に協力して頂いている「協力雇用主」との連絡・調整等を主な業務としております。

久慈地区保護司会においては常陸太田・大子両支部併せて21の事業所が「協力雇用主」として登録されておりますが、毎年各事業所に対し日

広報部

親しまれる広報誌づくり

岡部 智子

紅葉の便りが聞かれる頃、今年度も、広報誌「更生保護久慈」づくりがスタートしました。今回も「親しまれる広報誌」をテーマに、7人のメンバーで試行錯誤を重ねながらも、和気あいあいとした雰

囲気の中で活動出来ました。更に、昨年度の反省を踏まえて、作業の効率アップを図るためにデジタル化を進めました。掲載内容の編集計画に始まり、原稿依頼、レイアウト、校正、発送に至るまで、メンバ

サポートセンター活動

サポートセンターを核とした組織の活性化を

城石加代子



保護観察官との情報交換

サポートセンターは平成29年7月に開所し7年目を迎える、会議や交流の場所として機能しています。

○サポートセンター運営委員会
委員長・副委員長・庶務・

全員で分担し、協力して完成することが出来ました。

特に今年度は、更生保護活動について、社会の注目を集める年になったからこそ、この広報誌を通して保護司会の活動内容や保護司一人一人の思いについて、より多くの方々に伝えることが出来たらと思います。

最後に、ご寄稿頂いた方、広報誌に携わってくださった方々に、心より感謝申し上げます。



広報部会議

午前10時～午後4時
(水・土・日・祝日・年末年始は休み)

○サポートセンター開館日
月 火 木 金

会計・委員等11人で構成しています。
4月17日 水府支所大会議室
○企画調整保護司
保護司21名でサポートセンターの当番を行い問題点や改善策について検討を行い使用し易いサポートセンターを目指しています。

○保護観察官との情報交換
年5回定期駐在の午前中にサポートセンターで実施しています。保護観察中の事案について観察官や経験ある保護司と直接相談できる機会として利用されています。

司法福祉の最先端

市原青年矯正センターを訪ねて

鈴木 洋一

過日、久慈地区保護司会の研修として千葉県市原市にある市原青年矯正センターに向かった。

これまで少年院であった市原学園が廃庁となり、令和5年4月から、若年受刑者のための刑事施設として新設されたばかりの矯正施設である。収容されるのは、概ね16歳以上、26歳未満で、知的障害、発達障害、情緒障害等の障害がある受刑者で、犯罪傾向が進んでいない、刑期5年以下の男性が対象者となっている。建物、以前の少年院を転用しているが、処遇内容は、社会適応のための訓練も同時に行っている刑務所である。そのため、職員は法務教官の他に教育専門官の配置をして



市原青年矯正センターにて

いるのも大きな特徴だ。

刑務官の説明によると、最近の犯罪で増えている闇バイトであるが、障害者ゆえに犯罪とは知らず犯罪に手を染めてしまった受刑者も多いという。理由はともあれ、特殊詐欺の加担をすれば百パーセント犯罪だ。彼らの出所後、障害による生きづらさや就労などの厳しい生活を少しでも軽減するために矯正プログラムを活用しながら、社会復帰の支援を行っていることも特徴の一つであろう。

実社会に近い環境にするため、部屋にはカギは無く、施設内を自由に行き来できるようにしている。さらに受刑者自身に時間の管理をさせ、清掃や洗濯なども役割分担をしながら、日常の基本的な生活を送れる力を身につけさせることにも力を入れている。出所後の彼らが社会復帰する上では、とても大切なことであると思う。

また、刑務官や教育専門官の他、医師や社会福祉士の資格を持つ社会福祉専門官を配置し、障害者手帳の取得等の福祉的支援や、就労に向けたキャリアカウンセリングも行われている。まさに司法と福

祉と教育、そして医療の融合であり、日本初の画期的な処遇を行う理想の矯正施設であった。

視察を終え、関東平野の広い空を見上げながら、「はて、出所後の彼らに対して我々保護司は、これから何をすべきか?」と自問自答しながら帰路についた。

新任保護司の紹介



菊池 弘

この度、公私共にお世話になっていた方からご推薦をいただき、久慈地区の保護司を務めさせていただくことになりました。

保護司の役割は、社会復帰を果たすための支援を行い、再犯防止に努める非常に重要な仕事です。この職務に就くことを大変光栄に思うと同時に、その責任の重さを感じております。

私は、対象者一人ひとりに対して真摯に向き合い、共に歩む姿勢を大切にしたいと考えております。また、地域の皆さまや関係機関と連携し、より良い社会復帰支援ができるよう努力してまいります。諸先輩方のご指導とご鞭撻を賜りながら、精一杯努めて

いく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



山崎 仙一

この度、先輩の保護司の方から推薦をいただき保護司を拝命することになりました。

私は、大子町役場職員として勤務してまいりましたが、令和6年3月末で退職しました。現在は、再任用職員として引き続き勤務しています。12月11日に水戸生涯学習センターにおいて、保護司の委嘱状が交付され併せて新任保護司研修会に出席してまいりました。

これまで、保護司という言葉が、聞いたことはありましたが、その役割を深く理解してはいませんでした。今回の研修会で、保護司の役割や仕事の内容について改めて勉強することができました。自分に、保護司としての役割が務まるのか不安なところがあるのが現実です。

今後は、保護司として活動されている先輩方のご指導をいただきながら、微力ではありますが、全力で頑張りたいと考えておりますのでよろしく願い申し上げます。

保護司の異動

おつかれさまでした

● 退任(敬称略) 一名

白石 古登(常陸太田)

● 新しくお願いします

● 新任(敬称略) 二名

菊池 弘(大子)

山崎 仙一(大子)

編集後記

記録的な暑い夏と短い秋が過ぎ、めっきり寒くなってきました。各部署の事業も順調に進んでおります。インフルエンザが流行しつつあり、体調を崩す人が増えてきているようです。年度終盤に向けて気を付けていききたいものです。

なお、発行にあたり、ご寄稿くださいました皆様には深く感謝申し上げます。(赤須 記)

広報部員

近津 春美(大子)

白石 敬雄(常陸太田)

菊池 均(大子)

赤須 通重(常陸太田)

岩間 克則(常陸太田)

岡部 智子(常陸太田)

山崎 仙一(大子)